



追悼ハヴァンとキールタンで、天上界に帰られたスワミ サッチャダルマさんに感謝と祈りを捧げました。

六月十二日にスワミサッチャダルマさんが天上界に変えられました。スワミサッチャナンダさんの直弟子で高僧でありながら、シャンティパットのセミナーのために二〇〇四年、二〇〇五年、二〇〇六年、二〇一二年、二〇一三年、二〇一五年、二〇一七年に来日してくださいました。キールタン、ハヴァン、クリヤヨーガ、タットワシユンディなど、サダーナと奥義を直々に指導くださり、肉の人生を生きる意味と重要性を身をもって示してくださいました。今のシャンティパット、紗侖長花があり、私たちが日本にいらして学びを深めることができるのは、スワミサッチャダルマさんとの出会いがあったからこそです。これまでの尊いお導きとたくさんのメッタに感謝と祈りを捧げるべく、六月十五日に追悼ハヴァン、六月二十九日に追悼キールタンを催しました。

追悼ハヴァン

急なお知らせにも関わらず、たくさんのお客が集まりました。祭壇に献花の後、スワミサッチャダルマさんのキールタンの美しい歌声を聞きながら、在りし日に思いを馳せました。それぞれに感謝をこめて、時には涙ぐみながらハヴァンの炎に祈りを捧げました。



スワミサッチャダルマさんが教えて下さった。感謝の気持ちを込めて火をくべました。

追悼キールタン

スワミサッチャダルマさんが最後に滞りされていたタスマニアのアシユラムから、追悼式の招待状がまさみさんに届きました。六月二十九日は「ヨギーニ・エダカシ」という日であることが分かりました。この日は過去の悪いカルマを浄化し、将来に向けてより良い人生を送るために霊的サダーナを行うと良いとされています。特に、物質的な価値観から、内的・精神的な価値観へ変わらうとしている者にとっては重要な日だそうです。シャンティパットでは新月のキールタンを予定していたので、そのままスワミサッチャダルマさんに捧げる追悼のキールタンとして行いました。

最初に、スワミが来日の際に、メンバーたちと過ごした日々を振り返るスライドショーが流れ、清らかなエネルギーに溢れる美しい笑顔に胸が熱くなりました。サッチャダルマさんからまさみさんに、今年のお正月に届いたメッセージを改めて読んでくださいました。

「皆さんの事を忘れることは片時もなく、いつもいつもお祈りしています。皆さんが受け取ったものよりもっと多くのものを人々に与えたり、お返し出来ませうように。」
大きなメッタに感謝し、ご教授いただいたたくさんの教えをこれからもきちんと守り、学び、深めていきますという誓いを込めて、参加者全員でキールタンを捧げました。キールタンは、スワミが特に熱心にご指導してくださったサッチャナン・キールタン・バンドの「ハートフルリードのもと、心の底から歌いあげました。



サッチャダルマさんがシャンティパットのために作ってくださった「タイムフォーハリオン」で祈りは最高潮に。



サッチャダルマさんを囲むようにメンバーが寄り、全員が一体となって祈りのキールタンを捧げました。



最初に、シャンティパットで通じられたサッチャダルマさんの姿をビデオ上映。当時が思い出され、感謝の気持ちがこみ上げてきました。

第7回 キッズリトリートキャンプが行われました。

1泊2日のリトリートは2年ぶり。今年は小学2年生から高校1年生までの子供6名が参加し、内5名は小学生でした！1日目はアーサナに始まり、偉人劇、夕食づくり、花火大会。2日目は早朝ウォーキング、朝食作り、ヨーガニドラ、論語対決、ストリートキールタン、サットサンガ、そして縁日！と盛り沢山の内容です。2日間ともお天気にも恵まれ、充実した楽しいリトリートになりました。

「生き方」を表現しました 偉人劇 四人の偉人の

「生き方」を表現しました

今年はキュリー夫人、伊能忠敬、マザーテレサ、湯川秀樹の偉人劇を行いました。事前に劇の台本を作り、配役を決めて、劇で使う小道具の準備やカンペ作りなど全て子供たちで準備していきま。話し合いの中で「これが必要なんじゃないかな」「こうしたらいいよ」とアイデアを出し合っていて練習しました。偉人の生き方の台本を作るといことは、見て知る人ばかりで伝わるために、どこをピックアップするか、組み合わせ方など、なかなか大変な作業です。四つの台本を見てみると、それぞれ偉人がどんな偉業を成し遂げたのかわかりやすくまとめられていて、台本を作ったキッズ達の個性が出ていました。役になりきって演じ、その後まさみさんに導いていただきながら話し合いをし、学びを深めました。



一生懸命演じるキッズたち



真鶴半島三石海岸早朝ウォーキング 「この夏にやりたいことがあるー!!」海に向かって叫びました。

キッズリトリート初！真剣勝負の「子供 VS 大人の論語」

初の試みである論語対決が行われました。キッズたちは毎月のキッズヨーガの宿題で論語を五〜六個くらい覚えていきます。よく頑張ったが、ママーズも暗唱することになるとは。今回の対決では、子供は十個、大人は七個の論語を覚えました。対決で発表する論語を事前に提出し、それを一言一句間違えずに暗唱します。ちよつとも間違えたら点数になりません。その緊張感、緊張感が増すという。両者とも真剣です！審査員は発表者以外の全員。プロジェクトに映し出された文字をみれば、真剣勝負がわかります。覚えたりも得意げに立ってなかなか言葉が続かないものまで、「もりの世界」だったと実感。みんな最後まで諦めずに頑張りました。注目の結果は、子供チームの勝利！その中でも点数がよかったのはステラちゃんとななちゃん。おめでとう！子供たちの堂々とした姿がかっこよく、頼もしかったです。



大人の論語



いろんな花火ができておもしろかった！(夢公園にて)



海を眺めながらの露天風呂は最高！

何度も！何度も！練習を重ねた夕食、朝食作り

みんなで力を合わせて作った料理。夕食はカツカレー、サラダ、レモンゼリー。朝食はパンケーキ、サラダ、ウィンナー、目玉焼き、ミルティー。十二人分を作ります！時間内に手際良く、美味しく作るために練習を重ねる日を迎えました。基本的には、まさみさんとサポート班の方々にはそばで見守ってくださるだけ。家で使っているものとは違う器具を使い、レシピを見て一つ一つの手順を追いながらみんな頑張りました。臨機応変に対応していく力も培われたと思います！みんな真剣な表情で作っていますね！



カレー担当のしゅらちゃん「美味しく煮たかな」

笑顔溢れるご当地屋台 & 縁日

二日目最後は総勢二十一名のご当地屋台と縁日でした。だし(山形)付きわんこそば(盛岡)、餃子(宇都宮)、タコ焼き(大阪)、串焼き(福岡)、唐揚げ(中津)、どれもこれも美味しくて、ビールがすすみました(笑)今年はサポート班のご協力、射的、スイカ割りの他に、ヨーヨー釣りや輪投げコーナーを作ってください、グレードアップした縁日でした！射的ではまさみ賞、サポート班の男性陣の方々の賞も作らせていただき、キッズ達も気合いが入っていましたよ。笑顔が溢れる時間を過ごしました～



狙ったヨーヨー釣れるかな～ 射的コーナーも本格的です。



最後に

キッズリトリートが終わって子供に感想を聞くと、「楽しかったー!!」という言葉が毎回返ってきます。まさみさんがいるんな仕掛けをしてガイドして下さい、サポート班の細やかなサポートがあってこそ「楽しかったー!!」です。どうもありがとうございました！



それぞれ思いを伝えました。

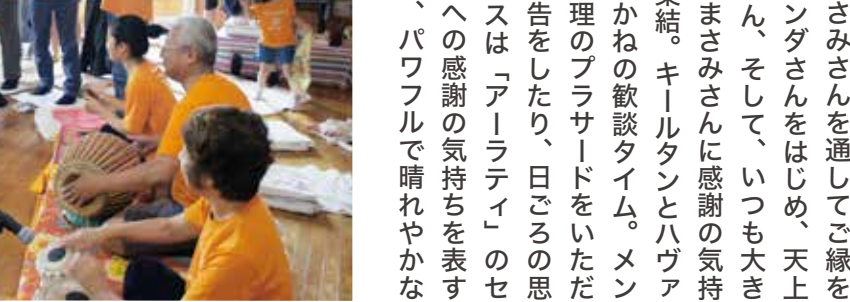
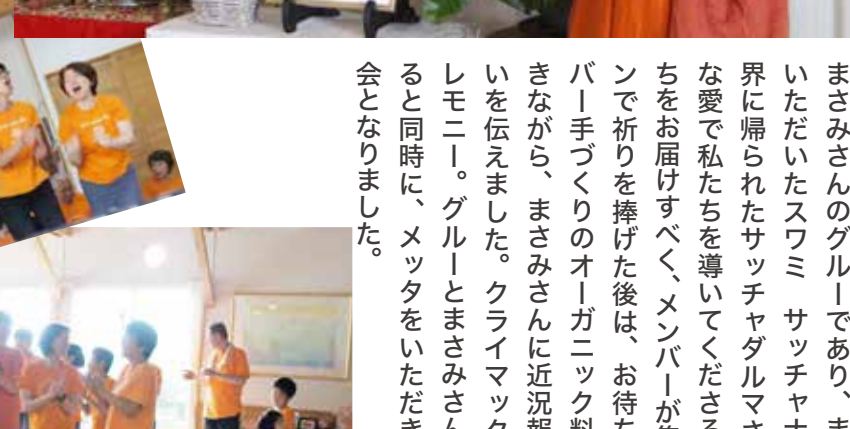
7月21日(日)開催。グループニマはパワフルで晴れやかな会となりました！



「アーラディ」でろうそくを手に、天上界にいらっしゃるグループのサッチャナンダさんに感謝を届けます。写真を通して、たくさんのメッタを送ってくださいているそうです。



サッチャナンダさんに捧げる特別なマントラを唱えながらハヴァンを行いました。



まさみさんが歌う「ゴーヴィンダラヤナ」で大盛り上がり。心を開放して音に身を任せてノリノリに。

感動をありがとう！ サットサンガ

リトリート始めて、まさみさんにガイドしていただきながらキッズそれぞれ考えたことがあります。キトリートで最も大切なこと。キトリートでどういう自分になりたいか。2日間を振り返ってのサットサンガでは、キッズたちが自分で決めた目標を達成できたか発表しました。目標を立てること、より一層頑張る力が湧いてきて、学びもぐんぐんと深まったでしょうね。次に、リトリートのために準備してくれたお母さんへ向けてそれぞれお手紙を読んでもくれました。キッズ達の心を小さい頃から知っているの、ほんと成長したなと親心で聞かされていて、みんなが頑張ってきた練習したり準備したことわかっていて、涙涙で、いろんな感情が湧いてきて、涙涙でした。

